



©合同会社モジップ

はばたけ未来へ鶴見川 ～よみがえった水辺の魅力を語る～

かつて激しい水害と汚染された河川として全国に名をはせた鶴見川がいま、よみがえりつつあります。流域の都市化で命の息吹が感じられなくなった水辺に、最近ではアユやウナギがのぼってくるようになりました。豊かな自然の営みを求める流域の市民をはじめ、治水に携わる人々の努力が実を結んだのです。東急線の綱島駅や新綱島駅に近い河川敷は、気軽に川の自然を楽しめる貴重な場所です。そんな鶴見川をめぐる自然や人々、治水について慶應義塾大学名誉教授の岸由二さんが語ります。そんな鶴見川をめぐる自然や人々、治水について慶應義塾大学名誉教授の岸由二さんが語ります。「鶴見川の生きもの写真展」を併せて開催します。

参加無料

14:00～15:30

開場:13:30 全席自由

7月21日(日)

会場：港北区民文化センター

「ミズキーホール」

5階ホール

同時開催



7月19日～22日

同ホール4階ギャラリーにて

子どもたちによる「鶴見川の生きもの写真展」を開催しています。子どもたちの作品も同時にご覧ください



講師紹介 岸由二 氏

慶應義塾大学名誉教授。理学博士。

NPO法人鶴見川流域ネットワーク代表理事。

進化生態学を専攻しながら、流域思考という方法で鶴見川流域や三浦半島の自然保護、防災の活動に邁進し、国や自治体の多数の審議会委員を歴任している。



主催：OE! yokohama

共催：港北区民文化センター／NPO法人鶴見川流域ネットワーク

後援：横浜市教育委員会／綱島地区連合自治会

協力：新横浜新聞／横浜日吉新聞／綱島バリケン島プロジェクト

問い合わせ：oe.yokohama.42.5@gmail.com

050-5374-5304 (OE! yokohama)



お申込みはこちら